

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 表示されたリストより項目をキー選択し、選択した項目に応じたリストを表示する動作を繰り返して処理に必要な情報をキー入力する機能と、音声により前記各項目を入力して処理に必要な情報を音声入力する機能を備えた装置の情報入力方法において、項目の入力に際して、キー入力と音声入力の混在を可能にし、いずれかの方法で項目が入力されたとき、該項目に応じたリストを表示する、ことを特徴とする情報入力方法。

【請求項 2】 表示されたリストより項目をキー選択し、選択した項目に応じたリストを表示する動作を繰り返して処理に必要な情報をキー入力するキー入力モードと、前記各項目を音声で入力して処理に必要な情報を入力する音声入力モードを備えた装置の情報入力方法において、音声入力モードの途中で、リスト表示を要求し、該要求によりキー入力するためのリストを表示して一時的にキー入力モードにし、表示されたリストより項目がキー選択されたとき、音声入力モードに戻す、ことを特徴とする情報入力方法。

【請求項 3】 表示されたリストより項目をキー選択し、選択した項目に応じたリストを表示する動作を繰り返して処理に必要な情報をキー入力するキー入力モードと、前記各項目を音声で入力して処理に必要な情報を入力する音声入力モードを備えた装置の情報入力方法において、音声入力モードの途中で、要求により入力モードを音声入力モードからキー入力モードに切り換え、入力モードの切り換えにより、キー入力するためのリストを表示し、以後、キー入力により各項目を入力する、ことを特徴とする情報入力方法。

【請求項 4】 表示されたリストより項目をキー選択し、選択した項目に応じたリストを表示する動作を繰り返して処理に必要な情報をキー入力するキー入力モードと、前記各項目を音声で入力して処理に必要な情報を入力する音声入力モードを備えた情報入力装置において、音声入力モードからキー入力モードに一時的に入力モードを切り換える要求を出力する手段、音声入力モードの途中で前記要求が発生した時、入力モードを音声入力モードからキー入力モードに切り換え、キー入力するためのリストを表示する手段、表示されたリストより項目がキー選択された時、入力モードを音声入力モードに戻す手段、備えたことを特徴とする情報入力装置。

【請求項 5】 表示されたリストより項目をキー選択し、選択した項目に応じたリストを表示する動作を繰り返

返して処理に必要な情報をキー入力するキー入力モードと、前記各項目を音声で入力して処理に必要な情報を入力する音声入力モードを備えた情報入力装置において、音声入力モードからキー入力モードに入力モードを切り換える要求を出力する手段、音声入力モードの途中で前記要求が発生した時、入力モードを音声入力モードからキー入力モードに切り換え、キー入力するためのリストを表示する手段、を備え、入力モード切り換え後、キー入力により各項目を入力する、ことを特徴とする情報入力装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は情報入力方法および装置に係わり、特に、表示されたリストより項目をキー選択し、選択した項目に応じたリストを表示する動作を繰り返して処理に必要な情報をキー入力する機能と、音声により前記各項目を入力して処理に必要な情報を音声入力する機能を備えた情報入力装置および情報入力方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 処理に必要な情報を複数の項目に分け、各項目を順次入力することで情報を入力する情報入力装置がある。各項目を入力する方法としては、キー入力方法と音声入力方法がある。キー入力方法は、リストを表示し、該リストより所定の項目をキー選択すると共に選択した項目に応じたリストを表示する動作を繰り返して処理に必要な情報を入力する方法である。音声入力方法は、音声により前記各項目を入力して処理に必要な情報を音声入力する方法である。

【0003】 図 1 1 はナビゲーションシステムにおいて目的地を入力する方法の説明図であり、(a)はキー入力方法、(b)は音声入力方法である。例えば、目的地をキー入力するには、①メインメニューを表示し、キー操作で項目「目的地設定」をハイライト表示あるいは選択バーをシフトして選択する。②目的地設定が選択されると、目的地入力方法のリストが表示されるから前記と同様のキー操作で所望の目的地入力方法、例えば「ジャンル」を選択する。③ジャンルが選択されると、ジャンル名リストが表示されるから、キー操作で所望のジャンル名、例えば「ゴルフ場」を選択する。④ゴルフ場が選択されると、都道府県リストが表示されるから、行きたいゴルフ場が存在する都道府県、例えば「福島県」を選択する。⑤福島県が選択されると、福島県に存在するゴルフ場のリスト（施設名リスト）が表示されるから行きたいゴルフ場、例えば「小名浜 C C」を選択し、セットキーを押下すれば、「小名浜 C C」が目的地としてシステムに取り込まれる。

【0004】 一方、目的地を音声入力するには、前記キー入力した各項目を音声で順番に入力する。すなわち、

10

20

30

40

50

“目的地”→“ジャンル”→“ゴルフ”→“福島”→
“小名浜”を音声入力し、最後に“設定”を音声入力す
れば「小名浜CC」が目的地としてシステムに取り込ま
れる。なお、各項目を音声入力する前にトークスイッチ
をオンする。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】キー入力法は正確に情
報（例えば目的地）を入力できる利点があるが、キー操
作が面倒で、情報入力に時間がかかる欠点がある。音声
入力法は簡単に情報を入力できるが、音声認識率が完璧
でないため、誤認識が発生し、再入力が必要となる欠点がある。特に、項目入力の後半（例えば都道府県
名や施設名の入力段階）になると、選択する項目が多
くなり、類似する項目が多くなり、誤認識が発生す
る。又、音声入力の場合、目的地が所在する都道府県名
や施設名などが不明の場合には入力できない欠点があ
る。以上から本発明の目的は、キー入力と音声入力の混
在を可能として従来の個々の入力方法の欠点を補完でき
るようにすることである。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明の第1は、表示さ
れたリストより項目をキー選択し、選択した項目に応じ
たリストを表示する動作を繰り返して処理に必要な情報
をキー入力する機能と、音声により前記各項目を入力し
て処理に必要な情報を音声入力する機能を備えた装置の
情報入力方法であり、(1) 項目の入力に際して、キー入
力と音声入力の混在を可能にし、(2) いずれかの方法で
項目が入力されたとき、該項目に応じたリストを表示す
る。この発明によれば、項目入力の全段階でキー入力あ
るいは音声入力が任意に可能なため、音声認識がうまく
ゆかない場合、あるいは誤認識が起こりそうな場合、リ
ストを用いたキー入力を採用して正確に項目の入力がで
きる。

【0007】本発明の第2は、表示されたリストより項
目をキー選択し、選択した項目に応じたリストを表示す
る動作を繰り返して処理に必要な情報をキー入力するキ
ー入力モードと、前記各項目を音声で入力して処理に必
要な情報を入力する音声入力モードを備えた情報入力装
置および情報入力方法であり、(1) 音声入力モードの途
中で、リスト表示を要求し、(2) 該要求によりキー入力
するためのリストを表示して一時的にキー入力モードに
し、(3) 表示されたリストより項目がキー選択されたと
き、音声入力モードに戻る。この発明によれば、音声認
識において誤認識が発生する場合、あるいは誤認識が起
こりそうな場合、一時的にキー入力モードにしてリスト
を用いて正確に項目を入力することができる。又、キー
入力により項目を入力した後、音声入力モードに戻るた
め、以後、音声入力モードの利点を生かした情報入力
が可能になる。

【0008】本発明の第3は、表示されたリストより項

目をキー選択し、選択した項目に応じたリストを表示す
る動作を繰り返して処理に必要な情報をキー入力するキ
ー入力モードと、前記各項目を音声で入力して処理に必
要な情報を入力する音声入力モードを備えた情報入力装
置および情報入力方法であり、(1) 音声入力モードの途
中で、要求により入力モードを音声入力モードからキー
入力モードに切り換え、(2) 入力モードの切り換えによ
り、キー入力するためのリストを表示し、(3) 以後、キ
ー入力により各項目を入力する。この発明によれば、音
声認識において誤認識が発生する場合、あるいは誤認識
が起こりそうな項目入力の後半において、音声入力モー
ドからキー入力モードに切り換え、以後、リストを用い
て正確に項目を入力することができる。

【0009】

【発明の実施の形態】(A) 構成

(a) 全体の構成

図1はナビゲーションシステムの全体の構成図であり、
1はナビゲーションのための制御を行なうナビゲーシ
ョン制御装置、2は地図やメニュー等を表示するディス
プレイ装置、3はナビゲーション用の操作部であり、例
えばリモコン、4は音声認識により認識した情報をナビ
ゲーション制御装置に入力する音声認識装置、5は話者音
声を検出するマイクロホン、6は音声認識装置用の操作
部であり、トークスイッチTKが設けられている。操作部
(リモコン) 3には各種キーが設けられ、メニュー選択
による各種設定／指示を行なうと共に地点名の入力、拡
大／縮小等の操作を行う。又、操作部3または操作部6
のいずれかに、リスト表示を要求するリストスイッチLT
S、入力モード切り換えを要求する入力モード切換スイ
ッチIMCが設けられる。図では操作部6に設けられてい
る。

【0010】(b) ナビゲーション制御装置

図2はナビゲーション制御装置の構成図である。11は
地図情報を記憶する地図記憶媒体で、例えばDVD(ディ
ジタルビデオディスク)、12はDVDからの地図情報の読み
取りを制御するDVD制御部、13は車両現在位置を測定
する位置測定装置で、移動距離を検出する車速センサ
ー、移動方位を検出する角速度センサー、GPSレシー
バ、位置計算用CPU等で構成されている。14はDVD
から読み出した車両位置周辺の地図情報を記憶する地図
情報メモリ、16はリモコンインターフェースである。

【0011】17はナビゲーション装置全体を制御する
CPU(ナビゲーション制御部)、18はDVDより各
種制御プログラムをダウンロードするためのソフトウェ
ア(ローディングプログラム)、固定データ類等を記憶す
るROM、19はDVDからダウンロードされた各種制
御プログラム(目的地設定プログラムDSP、経路探索プ
ログラムRSP等)、探索された誘導経路データ、その他
の処理結果を記憶するRAMである。20は地図画像/
誘導経路等を発生するディスプレイコントローラ、21

はディスプレイコントローラが発生した画像を記憶するビデオRAM、22は各種メニューおよびリストを発生するメニュー／リスト発生部、23は各種画像を合成してディスプレイ装置2に出力する画像合成部、24は交差点までの距離や進行方向を音声で案内する音声案内部、25は通信インタフェースであり音声認識装置4とデータの送受を行なうもの、26はバスである。

【0012】(c) 音声認識装置

図3は音声認識装置の構成図である。図中、4aは単語文字列と単語の音声パターンを対応付けて記憶する音声辞書データベース、4bは音声認識エンジンであり、音声パターンマッチングによりマイクロホンより入力された音声と最も類似する音声パターンを有する文字列を検索して出力するもの、4cは通信インタフェースでありナビゲーション制御装置1とデータの送受を行なうものである。

【0013】(B) 本発明の情報入力法

(a) 第1実施例の情報入力法

図4は第1実施例の情報入力法の説明図であり、目的地入力に適用した例を示している。第1実施例では、全段階の項目入力に際して、キー入力と音声入力の混在を可能にし、いずれかの方法で項目が入力されたとき、該項目を取り込むと共に該項目に応じたリストを表示する。すなわち、第1実施例において目的地を入力するには、①メインメニューを表示し、キー操作で「目的地設定」を選択するか、あるいは、トークスイッチオン後に音声で「目的地」を入力する。

②「目的地設定」がキー選択され、あるいは「目的地」が音声入力されると、目的地入力方法のリストが表示される。従って、前記と同様のキー操作で所望の目的地入力方法、例えば「ジャンル」を選択するか、あるいは、トークスイッチオン後に音声で「ジャンル」を入力する。

【0014】③ジャンルがキー選択され、あるいは「ジャンル」が音声入力されると、ジャンル名リストが表示される。ここで、キー操作で所望のジャンル名、例えば「ゴルフ場」を選択するか、あるいは、トークスイッチオン後に音声で「ゴルフ」を入力する。

④ゴルフ場がキー選択され、あるいは、「ゴルフ」が音声入力されると、都道府県リストが表示される。ここで、行きたいゴルフ場が存在する都道府県、例えば「福島県」をキー選択するか、あるいは、トークスイッチオン後に音声で「福島」を入力する。

⑤福島県がキー選択され、あるいは、「福島」が音声入力されると、福島県に存在するゴルフ場のリスト（施設名リスト）が表示される。ここで、行きたいゴルフ場、例えば「小名浜CC」を選択し、セットキーを押下する。あるいは、トークスイッチオン後に音声で「小名浜」を入力し、「設定」を音声入力する。

【0015】以上により、「小名浜CC」が目的地とし

てシステムに取り込まれる。この第1実施例の情報入力法によれば、項目入力の全段階でキー入力あるいは音声入力が任意に可能なため、音声認識がうまくゆかない場合、あるいは誤認識が起こりそうな場合、リストを用いたキー入力を採用して正確に項目の入力ができる。

【0016】(b) 第2実施例の情報入力法

図5は第2実施例の情報入力法の説明図であり、目的地入力に適用した例を示している。第2実施例では、音声入力モードの途中で、一時的にキー入力モードにし、リストより項目がキー選択されたとき、音声入力モードに戻す。すなわち、第2実施例では、目的地を入力するには、①音声入力モードの途中で、リスト表示を要求し、②該要求によりキー入力するためのリストを表示して一時的にキー入力モードにし、③表示されたリストより項目がキー選択されたとき、音声入力モードに戻し、項目入力を継続する。

【0017】図5の(1)は、トークスイッチTKSオン後に音声で「目的地」を入力し、しかる後、①「リスト」を音声入力し、あるいは、リストスイッチLTSをオンしてリスト表示を要求し、②該要求により、目的地入力法リストを表示し、③キー操作でジャンルを選択して、音声入力モードに戻る場合である。図5の(2)は、目的地入力法としてジャンルを入力後、①「リスト」を音声入力し、あるいは、リストスイッチLTSをオンしてリスト表示を要求し、②該要求により、ジャンルリストを表示し、③キー操作でゴルフ場を選択して、音声入力モードに戻る場合である。

【0018】図5の(3)は、ジャンルとしてゴルフ場を入力後、①「リスト」を音声入力し、あるいは、リストスイッチLTSをオンしてリスト表示を要求し、②該要求により、都道府県リストを表示し、③キー操作で福島県を選択して、音声入力モードに戻る場合である。図5の(4)は、都道府県として福島県を入力後、①「リスト」を音声入力し、あるいは、リストスイッチLTSを押下してリスト表示を要求し、②該要求により、施設リストを表示し、③キー操作で小名浜CCを選択して、音声入力モードに戻る場合である。第3実施例によれば、音声認識において誤認識が発生する場合、あるいは誤認識が起こりそうな場合、一時的にキー入力モードにしてリストを用いて正確に項目を入力することができる。

【0019】(b) 第3実施例の情報入力法

図6は第3実施例の情報入力法の説明図であり、目的地入力に適用した例を示している。第3実施例では、音声入力モードの途中で、要求により入力モードを音声入力モードからキー入力モードに切り換え、以後、キー入力により各項目を入力する。図6では、都道府県の入力時に入力モードを音声入力モードからキー入力モードに切り換えた場合を示しているが、どの時点でも入力モードの切り換えができる。

【0020】目的地を音声入力するために、「目的地」

→ “ジャンル” → “ゴルフ” を音声入力し、次に都道府県名である “福島” を音声入力すると、音声認識装置が福岡と誤認識する。そこで、“キー入力” と音声入力し、あるいは、入力モード切換スイッチIMSを押下して入力モードを音声入力モードからキー入力モードに切り換える。この入力モード切り換えにより、都道府県リストが表示されるから、福島をキー選択する。福島県がキー選択されると、福島県に存在するゴルフ場のリスト（施設名リスト）が表示される。ここで、行きたいゴルフ場、例えば「小名浜CC」を選択し、セットキーを押下する。以上により、「小名浜CC」が目的地としてシステムに取り込まれる。この第3実施例の情報入力法によれば、音声認識において誤認識が発生する場合、あるいは誤認識が起こりそうな項目入力の後半において、音声入力モードからキー入力モードに切り換え、以後、リストを用いて正確に項目を入力することができる。

【0021】（d）目的地以外の情報入力への適用
以上では目的地を入力する場合について説明したが、本発明は目的地入力に限るものではなく、他の情報入力にも適用できる。図7は設定・編集処理の情報入力の説明図であり、（a）はキー入力方法、（b）は音声入力方法である。地図表示をノースアップ表示に変更するためには、①メインメニューを表示し、キー操作で「設定・編集」をハイライト表示あるいは選択バーをシフトして選択する。②設定・編集が選択されると、設定・編集リストが表示されるからキー操作で所望の設定・編集、例えば「地図表示の変更」を選択する。③「地図表示の変更」が選択されると、表示態様リストが表示されるから、キー操作で所望の表示態様、例えば「地図表示」を選択する。④「地図表示」が選択されると、地図表示リストが表示されるから、所望の地図表示、例えばノースアップを選択し、セットキーを押下すれば、「ノースアップ」がシステムに取り込まれる。

【0022】一方、「ノースアップ」を音声入力するには、前記キー入力した各項目を音声で順番に入力する。すなわち、“編集” → “地図変更” → “地図表示” → “ノースアップ” を音声入力し、最後に“設定”を音声入力すれば「ノースアップ」がシステムに取り込まれる。なお、各項目を音声入力する前にトークスイッチTKSをオンする。以上より、設定・編集においても図11の目的地入力と同様に情報を入力することができる。このため、設定・編集の情報入力に際しても図4～図6で説明した第1～第3実施例の情報入力を適用することができる。

【0023】（C）本発明の情報入力の処理

（a）第1実施例の情報入力処理

図8は第1実施例の情報入力処理フローである。ナビゲーション制御装置1はディスプレイ装置2のスクリーンにメインメニューを表示し（ステップ101）、所定の項目がキー選択されたか、あるいは、音声で項目の入

力があるか監視する（ステップ102、103）。トークスイッチTKSがオンして項目が音声入力されると、音声認識装置4は音声認識処理を行ない、正しく認識できたかチェックする（ステップ104）。正しく音声認識できなければ、再入力を要求してステップ102以降の処理を行なう。しかし、正しく音声認識できた場合、あるいは、ステップ102でキー選択された場合は、ナビゲーション制御装置1はキー選択された項目、あるいは、音声入力された項目を取り込む（ステップ105）。

【0024】について、全必要項目の入力が完了したかチェックし（ステップ106）、完了してなければ次のメニューリストをディスプレイ装置2に表示し（ステップ107）、ステップ102以降の処理を繰り返す。一方、ステップ106において、全必要項目の入力が完了すれば、セットキーを押下しあるいは音声で“設定”を入力し（ステップ108）、情報入力処理を終了する。

【0025】（b）第2実施例の情報入力処理
図9は第2実施例の情報入力処理フローである。リスト表示が要求されたチェックする（ステップ201）。最初は、リスト表示が要求されることはないから「NO」となる。かかる状態において、項目を音声入力するために、トークスイッチTKSをオンし、しかる後、項目を音声で入力すると（ステップ202）、ナビゲーション制御装置1は入力モードを音声入力モードとする（ステップ203）。又、音声認識装置4は音声認識処理を行ない、正しく認識できたかチェックする（ステップ204）。正しく音声認識できなければ、再入力を要求してステップ201以降の処理を行なう。しかし、正しく音声認識できれば、ナビゲーション制御装置1は音声入力された項目を取り込む（ステップ205）。ついで、全必要項目の入力が完了したかチェックし（ステップ206）、完了してなければ、ステップ201以降の処理を繰り返す。

【0026】一方、正しく音声認識できず、ユーザがリスト表示を要求すると、ステップ201で「YES」となる。リスト表示要求により、ナビゲーション制御装置1はメニューリストをディスプレイ装置2に表示し、一時的にキー入力モードにする（ステップ207）。この状態で、所定の項目がキー選択されると（ステップ208）、ナビゲーション制御装置1はキー選択された項目を取り込み、入力モードを音声入力モードに戻す（ステップ205）。ついで、全必要項目の入力が完了したかチェックし（ステップ206）、完了してなければ、ステップ201以降の処理を繰り返す。以上により、ステップ206において、全必要項目の入力が完了すれば、音声で“設定”を入力し（ステップ209）、情報入力処理を終了する。

【0027】（c）第3実施例の情報入力処理

図10は第3実施例の情報入力処理フローである。入力

10

20

30

40

50

モード切り換えが要求されたチェックする(ステップ301)。最初は、入力モード切り換えが要求されることはないから「NO」となる。かかる状態において、項目を音声入力するために、トークスイッチTKSをオンし、しかる後、項目を音声で入力すると(ステップ302)、ナビゲーション制御装置1は入力モードを音声入力モードとする(ステップ303)。又、音声認識装置4は音声認識処理を行ない、正しく認識できたかチェックする(ステップ304)。正しく音声認識できなければ、再入力を要求してステップ301以降の処理を行なう。しかし、正しく音声認識できれば、ナビゲーション制御装置1は音声入力された項目を取り込む(ステップ305)。ついで、全必要項目の入力が完了したかチェックし(ステップ306)、完了してなければ、ステップ301以降の処理を繰り返す。

【0028】一方、正しく音声認識できず、ユーザが入力モード切り換えを要求すると、ステップ301で「YES」となる。入力モード切り換え要求により、ナビゲーション制御装置1は入力モードをキー入力モードに変更すると共に(ステップ307)、メニューリストを表示する(ステップ308)。この状態で、所定の項目がキー選択されると(ステップ309)、ナビゲーション制御装置1はキー選択された項目を取り込み(ステップ310)、全必要項目の入力が完了したかチェックし(ステップ311)、完了してなければ、次のメニューリストをディスプレイ装置2に表示し(ステップ308)、ステップ309以降の処理を繰り返す。ステップ306において全必要項目の入力が完了すれば、すなわち、音声入力モードで全項目の入力を行なえば、音声で“設定”を入力し(ステップ312)、情報入力処理を終了する。

【0029】又、ステップ311において全必要項目の入力が完了すれば、すなわち、キー入力モードに変更してから全項目の入力が完了すればセットキーを押下し(ステップ313)、情報入力処理を終了する。以上、本発明を実施例により説明したが、本発明は請求の範囲に記載した本発明の主旨に従い種々の変形が可能であり、本発明はこれらを排除するものではない。

【0030】

【発明の効果】以上本発明によれば、項目の入力に際して、キー入力と音声入力の混在を可能にし、いずれかの方法で項目が入力されたとき、該項目に応じたリストを表示するようにしたから、項目入力の全段階でキー入力あるいは音声入力が任意に可能となり、音声認識がうまくゆかない場合、あるいは誤認識が起こりそうな場合、

リストを用いたキー入力により正確に項目の入力ができる。

【0031】又、本発明によれば、音声入力モードの途中で、リスト表示を要求し、該要求によりキー入力するためのリストを表示して一時的にキー入力モードにし、表示されたリストより項目がキー選択されたとき、音声入力モードに戻すようにしたから、音声認識において誤認識が発生する場合、あるいは誤認識が起こりそうな場合、一時的にキー入力モードにしてリストを用いて正確に項目を入力することができる。又、キー入力により項目を入力した後、音声入力モードに戻るため、以後、音声入力モードの利点を生かした情報入力が可能になる。

【0032】又、本発明によれば、音声入力モードの途中で、要求により入力モードを音声入力モードからキー入力モードに切り換え、入力モードの切り換えにより、キー入力するためのリストを表示し、以後、キー入力により各項目を入力するようにしたから、音声認識において誤認識が発生する場合、あるいは誤認識が起こりそうな項目入力の後半において、音声入力モードからキー入力モードに切り換え、以後、リストを用いて正確に項目を入力することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】ナビゲーションシステムの全体の構成図である。

【図2】ナビゲーション制御装置の構成図である。

【図3】音声認識装置の構成図である。

【図4】第1実施例の情報入力法の説明図である。

【図5】第2実施例の情報入力法の説明図である。

【図6】第3実施例の情報入力法の説明図である。

【図7】設定・編集処理の情報入力の説明図である。

【図8】第1実施例の情報入力処理フローである。

【図9】第2実施例の情報入力処理フローである。

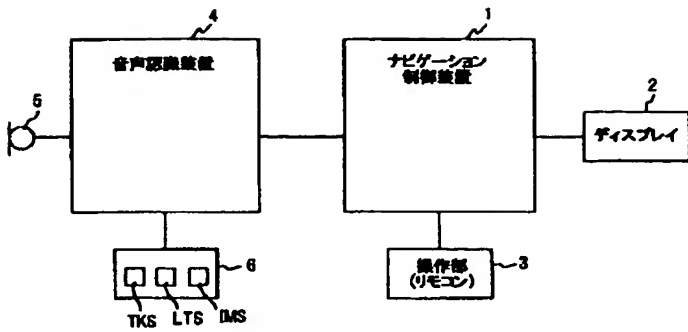
【図10】第3実施例の情報入力処理フローである。

【図11】ナビゲーションシステムにおいて目的地を入力する方法の説明図である。

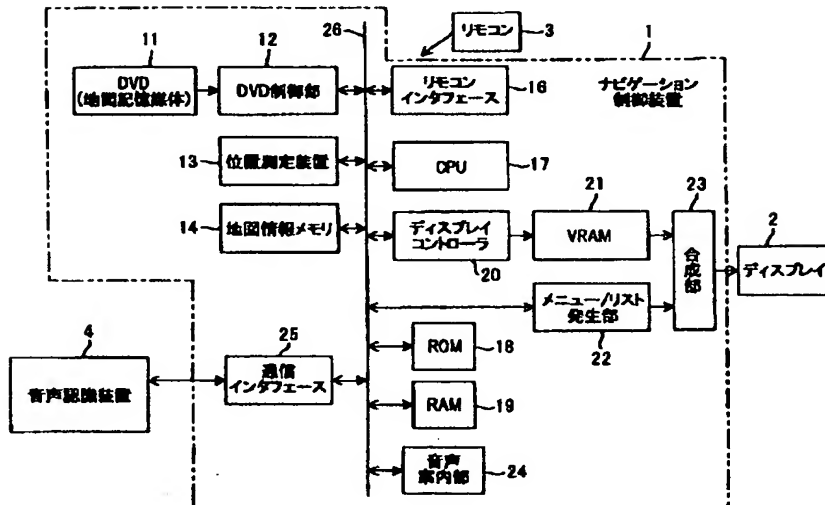
【符号の説明】

- 1 ナビゲーション制御装置
- 2 ディスプレイ装置
- 3 ナビゲーション用の操作部(例えばリモコン)
- 4 音声認識装置
- 5 マイクロホン
- 6 音声認識装置用の操作部
- TKS トークスイッチ
- LTS リスト表示を要求するリストスイッチ
- IMS 入力モード切換スイッチ

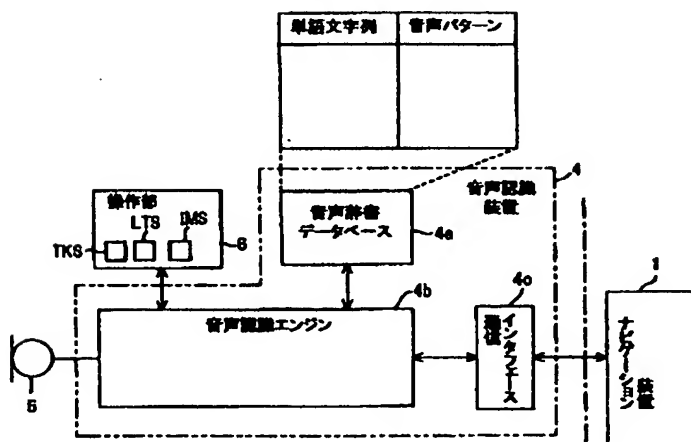
【図 1】



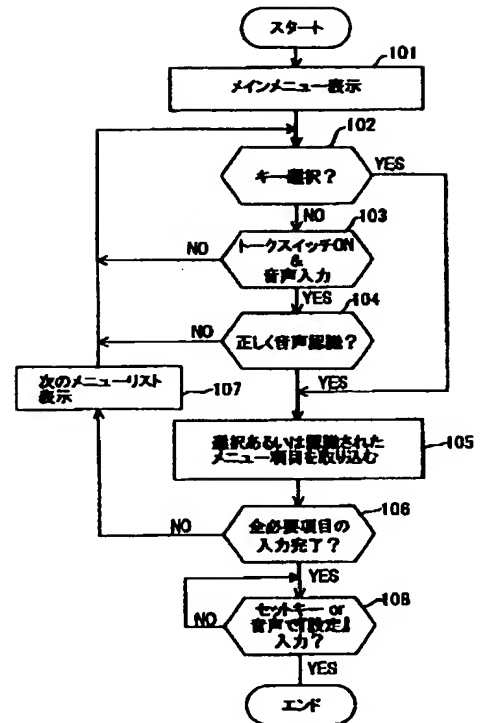
【図 2】



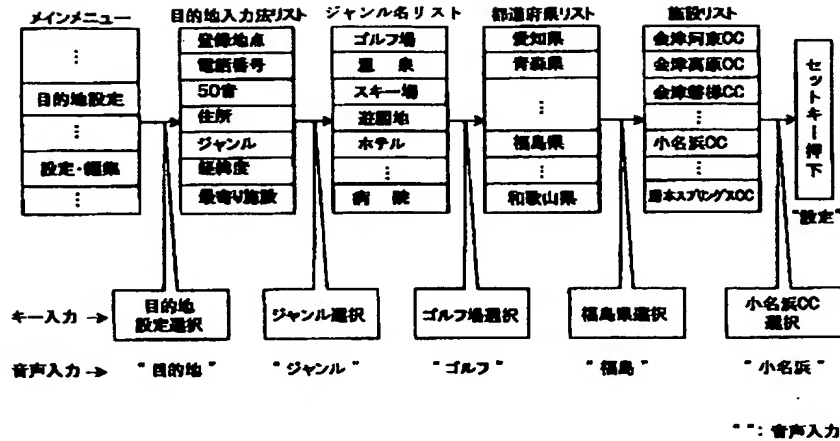
【図 3】



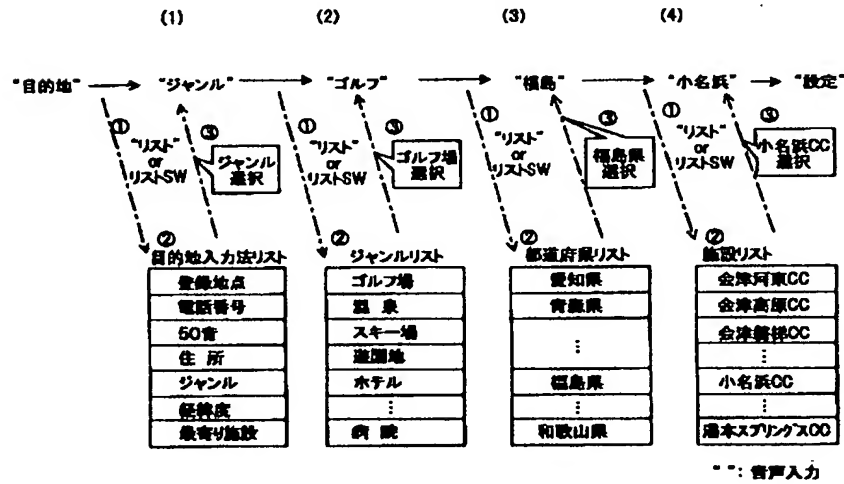
【図 8】



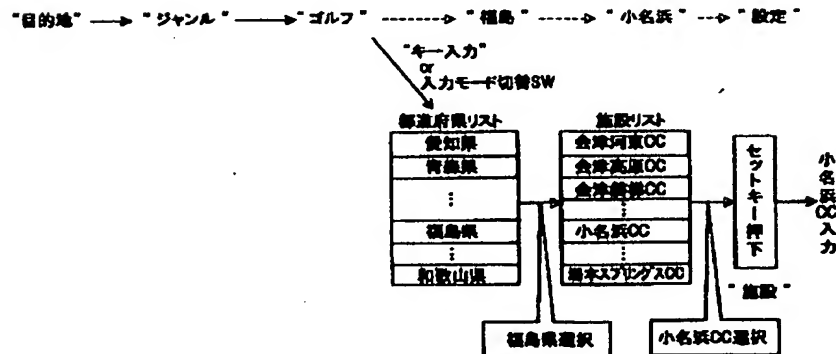
【図 4】



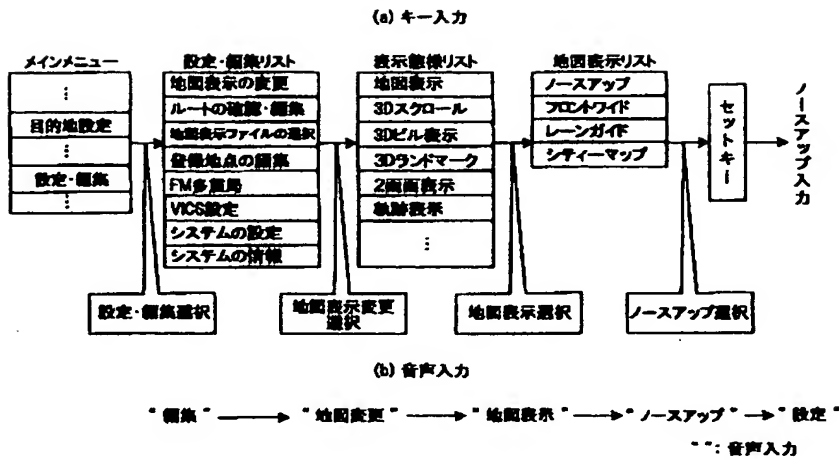
【図 5】



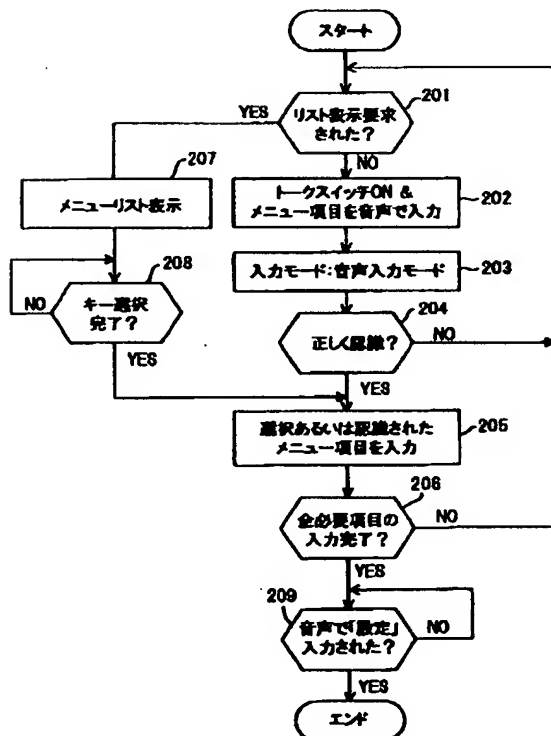
【図 6】



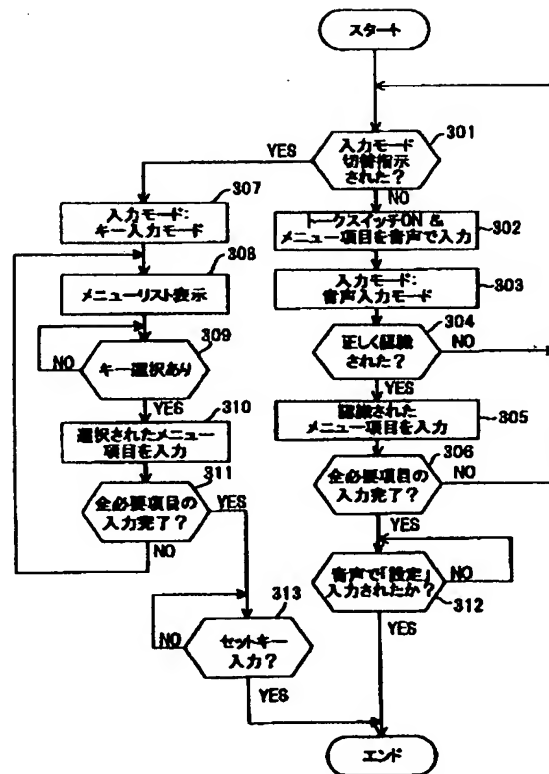
【図 7】



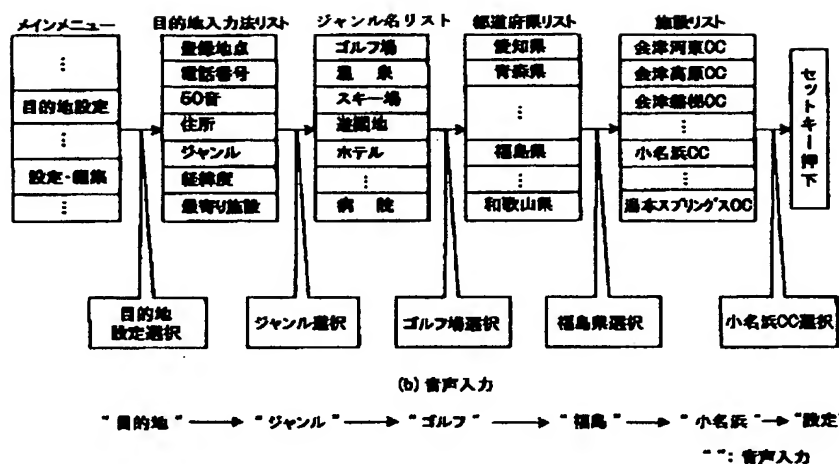
【図 9】



【図 10】



(a) キー入力



フロントページの続き

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	ターコード (参考)
G 0 6 F 3/16	3 2 0	G 0 6 F 3/16	3 4 0 M
	3 4 0	G 0 8 G 1/0969	
G 0 8 G 1/0969		G 0 6 F 3/023	3 1 0 L
G 1 0 L 15/00		G 1 0 L 3/00	5 5 1 Q
15/06			5 2 1 W
15/22			5 7 1 K
15/28			5 7 1 V
H 0 3 M 11/04			

Fターム(参考)	2F029	AA02	AB01	AB07	AB13	AC02
		AC14	AC18			
	5B020	AA11	CC01	CC12	DD02	FF53
		GG16				
	5D015	KK02	LL08	LL10		
	5E501	AA02	AA23	AC33	BA05	CB02
		CB15	EA05	EA15	EB05	FA02
		FA05	FA22			
	5H180	AA01	BB13	CC12	FF04	FF05
		FF22	FF25	FF27		

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-005897

(43)Date of publication of application : 08.01.2003

(51)Int.Cl.

G06F 3/023
G01C 21/00
G06F 3/00
G06F 3/02
G06F 3/16
G08G 1/0969
G10L 15/00
G10L 15/06
G10L 15/22
G10L 15/28
H03M 11/04

(21)Application number : 2001-186067

(71)Applicant : ALPINE ELECTRONICS INC

(22)Date of filing : 20.06.2001

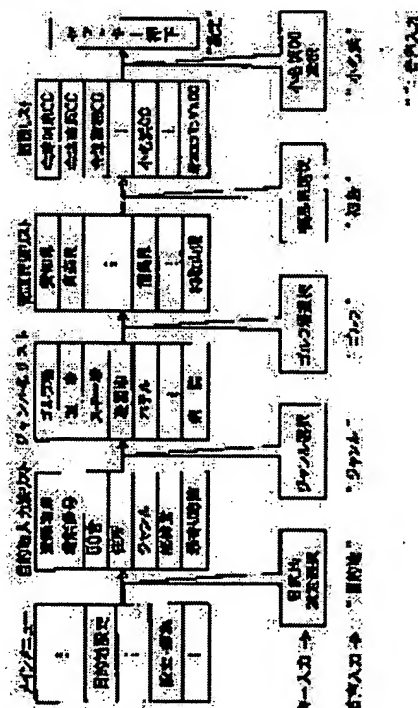
(72)Inventor : KAGEYAMA HIROAKI

(54) METHOD AND DEVICE FOR INPUTTING INFORMATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To mix a key input method and a sound input method and to complement the defects of the conventional and individual input methods.

SOLUTION: A device is provided with a function for selecting an item with keys from a displayed list, repeating an operation displaying the list corresponding to the selected item and inputting a plurality of items required for a processing with the keys and a function for inputting the respective items by voice and inputting a plurality of items required for the processing by voice. Key input and voice input can be mixed in inputting the item (1) and the list corresponding to the item is displayed when the item is inputted by an y method, or list display is requested in the middle of a voice input mode (1), the list for inputting the key by the request is displayed and a system is temporarily set to be a key input mode (2), and it is returned to the voice input mode when the item is selected with the keys from the displayed list (3).



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office